はがまち 第198号

議会だより

令和７年２月１日

青空のもと一斉にスタート!!

主 な 内 容

第4回芳賀町議会定例会
気になる議案ピックアップ・議案一覧…… 2～3
閉会中の所管事務調査報告…… 4～6
一般質問 ……7～10
私のいいたいこと ……11
議会クイズ・編集室 ……12

議会ホームページは
こちらから

芳賀町議会 検索

令和6年第4回芳賀町議会定例会

12月2日から12月5日までの4日間の会期で開かれました。初日の12月2日は承認理由の説明と質疑・討論・採決を行いました。また、報告案件についての報告と町長から提出された議案の提案理由の説明を受けました。

12月4日は一般質問を行い、最終日の12月5日は追加議案の提案理由の説明を受け、追加議案を含むすべての議案の質疑を行い、すべて原案どおり可決しました。

また、総務・教育民生・産業建設常任委員会からの閉会中の事務調査結果を報告し、定例会を閉会しました。

補正予算（主なもの）

LRT雨水排水対策工事に847万円

芳賀町工業団地管理センター前停留場の軌道内に雨水が滞水してしまうため、新たに排水設備を整備します。

令和7年2月に工事に着手し、年度内に工事完了の予定です。

補正予算（主なもの）

小中学校並びに第2体育館空調設置事業に383,836千円

地球温暖化と近年の猛暑対策として、小中学生の学習環境向上と町民の皆さまが快適に運動できる環境を整備するために、各学校体育館と町第2体育館において空調設置工事を行います。

体育館は災害時には避難所として利用されることから、避難所の機能強化も図られます。令和6年度中に工事に着手し、令和7年8月には完了する予定です。

2年間の工事費内訳　（単位:千円）

	年度	年割額
小学校体育館（3校）	R6	82,858
	R7	125,318
	計	208,176
中学校体育館	R6	31,961
	R7	48,285
	計	80,246
芳賀町第2体育館	R6	37,946
	R7	57,468
	計	95,414
合　計		383,836

▲第2体育館でのレクリエーション大会

令和6年第4回定例会議案一覧

上程された議案・概要　賛成:○　反対× ※小林　信二議員は議長のため採決には加わりません。		藤沼英之	市川司	古谷康典	黒﨑浩一	中村由美子	有坂隆志	山口菊一郎	岡田年弘	杉田貞一郎	小林一男	石川保	小林信二	議決結果
		採決結果												
承　認														
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度芳賀町一般会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案承認
報　告														
報告第12号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
報告第13号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
条例の一部改正														
議案第64号	芳賀町附属機関に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議案第65号	芳賀町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
条例の廃止														
議案第66号	芳賀町東日本大震災復興推進基金条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議案第67号	平成23年東日大震災に係る被災者に対する町民税等の減免の特例に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議案第68号	平成23年東日本大震災に係る被災者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例及び東日本大震災に係る被災者に対する平成24年度分国民健康保険税の減免の特例に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
補正予算														
議案第69号	令和6年度芳賀町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議案第70号	令和6年度芳賀町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議案第71号	令和6年度芳賀工業団地排水処理センター特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議案第72号	令和6年度芳賀町下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議案第74号	令和6年度芳賀町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
損害賠償額の決定														
議案第73号	損害賠償額を定め和解することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決

議会閉会中の所管事務調査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は所管する事務について、行政視察、調査などを行い、12月議会に調査結果を報告しました。

総務常任委員会

委員長　岡田　年弘　　委員　山口　菊一郎
副委員長　有坂　隆志　　委員　小林　信二

調査事項　　これからの公共交通について

調査結果

常陸大宮市は、平成16年10月に市町村合併により市制施行をして誕生した。面積348.45㎢（茨城県第2位）で、人口36,946人（高齢化率40.6%）である。

公共交通の沿革について

令和元年度　市民バスの全線廃止、路線バスの再編、乗合タクシーの拡充

令和４年度　常陸大宮市地域公共交通計画の策定

令和５年度　乗合タクシーにAIオンデマンドシステムを導入「のるーと常陸大宮」の運行開始。車両編成を見直し、セダン車両12台を7台に、ワゴン車輌3台を加え、計10台の編成とする。

令和６年度　路線バスを見直し、9路線、21系統、65便を、4路線、8系統、13便にし、乗合タクシーのワゴン車輌を3台から5台に増大し、計12台で運行実施している。

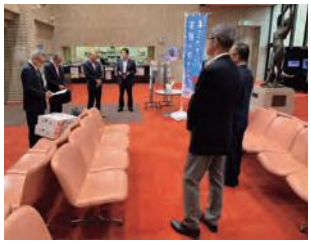
千葉県横芝光町は、高齢化による移動需要の変化、ドライバー不足など2024年問題に対応し、地域の公共交通課題解決と、既存交通と連携した新たな交通網を構築し、全ての世代にとって魅力ある町として若者世代の定住先として選ばれるのを目的としている。

事業の概要は、既存交通と連携し、新たな交通網に生活環境での技術面、安全面、実用面を検証し、実装化を目指している。現在は、レベル2（オペレーター搭乗）から開始、最終的には完全無人での自動運転レベル4を目指す。自動運転レベル4対応のEV車両最大乗員25名（実証16名、乗客15名、オペレーター1名）最高速度70km/h（実証走行35km/h）

令和5年度、国庫補助が決定し、走行ルートは約5.5kmで実証走行し、自動運転専用の遠隔監視体制を構築している。

令和6年度の事業計画は、ルート拡大、機能向上、令和7年度以降定常運行、レベル4の実現に向け調整している。

自動運転バス


横芝光町視察

調査の意見と提言

AIオンデマンド交通は、AIによる最適なルート作成と配車により、定常運行からリアルタイム運行になり、利用者は利便性が高まり、運行管理者は効率的な運行により経常的負担が抑制されるなどのメリットがある一方、利用者は予約におけるアプリ操作が難しい、配車等における融通が利かないなどのデメリットもある。

当町において導入をする際は、AIと人との融合を図り、利用者にやさしいシステムとなるよう検討が必要と思われる。

自動運転バス支援システム導入については、交通状況等を見極める必要があり、それに伴い、道路交通法の改正も視野に入れながら整備する必要があると思われる。

教育民生常任委員会

委員長　杉田　貞一郎　　委員　小林　一男
副委員長　古谷　康典　　委員　黒﨑　浩一

調査事項　　学校給食における地産地消について

調査結果

山梨市学校給食センターは、市内8つの小学校及び3つの中学校の学校給食事業を統合し、事業費約20億円、約3,000食を賄う施設として平成30年7月に竣工した。

学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理を行うための厨房機器、食物アレルギーに対応した専用調理室を設けるなど、最新設備を活用した安全、安心な給食提供に取り組んでいる。

また、保護者や市民が施設の見学や研修をすることによって、食育の推進に寄与できるような機能と災害時の炊き出しに対応できる機能も備えている。

給食事業統合前は、各学校において自校方式で給食を提供しており、地産地消の取り組みについては、統合前から各学校で行っていた。しかし、各学校単位では給食に使用する材料数も少なく、仕入れ先からの安定供給という点で課題があった。統合後は仕入れの量にムラがなくなったことから、地元農家に加え、JAとの提携が可能になったことで、その年の収穫量に左右されることもなくなり、安定した材料調達による地産地消の取り組みが実現している。

地元（県産含む）材料は、米、野菜のほか、地場産業として盛んなブドウ、サクランボなどのフルーツを使用している。

また、山梨県では県産の食材を活用した地域ごとの特色を活かす給食事業の取り組みを行っている。県を5つのエリアに分け、それぞれの地域の特産品、郷土料理を学校給食に取り入れている。山梨市の存する地域は、ブドウ酢を使用したマリネ、ワインきのこと呼ばれるワインの搾りかすを菌床に練りこみ、ワインの成分を栄養として成長したシイタケを使用したワインきのこ汁、県名物ほうとう汁などを提供し、地産地消に加え、郷土料理の伝承に寄与する取り組みを行っている。

山梨市学校給食センター

調理室の見学

調査の意見と提言

当町のふるさと給食（地産給食）の維持は、個人の農家に頼っているのが現状である。今後、食材の生産、納入について、多様な組織と協力し、町全体で地産給食を支える仕組を構築する検討を進められたい。

また、調理に係る手間を軽減するため、機械を導入すると共に、集約しての一括下処理等も検討されたい。

産業建設常任委員会

委員長　中村　由美子　　委員　石川　保
副委員長　市川　司　　委員　藤沼　英之

調査事項　　都市公園の設備と利活用について

調査結果

福島県郡山市の西部に位置する開成山公園は、令和4年度に都市公園として50周年を迎えた。また、日本最古のソメイヨシノをはじめとした約1,300本の桜が残されており、現在では歴史・文化・運動施設等が複合する総合公園として多くの方に親しまれている。

令和6年4月に、Park-PFIを利用し、5つのコンセプトでリニューアルオープンした。

【利用する】大屋根広場や芝生公園、野外音楽堂、多目的ルームなど、スポーツイベントやマルシェ、セミナーなどに利用できる。
【彩　る】昭和47年開園のバラ園を再整備。フラワーショップや公園の景色や音を感じるヘアサロン。
【食べる】コーヒーショップ、ハンバーガー専門店、BBQガーデン、キッチンカーなど。
【遊　ぶ】幼児広場、児童広場、ふくしま応援ポケモン「ラッキー」をモチーフにしたラッキー公園。
【備える】災害時に備え、かまどベンチやトイレに使えるマンホールなど園内のいたるところに設置。
その他、電動キックボードのポートが園入口に設置された。

翠ヶ丘公園は、令和2年から事業を開始した。Park-PFIにより温浴施設と飲食・物販の便益施設を公募対象公園施設として設置し、合わせてトイレ・園路・広場等を一体的に整備。利便性を向上させた。園内維持管理は、Park-PFI事業者が管理を行っている。カフェもオープンし、平日でも子連れの親子や女性グループで賑わっていた。

※Park-PFIとは
民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行うものです。

郡山市開成山公園視察

須賀川市翠ヶ丘公園

調査の意見と提言

芳賀町のメイン公園となるかしの森公園の整備計画が予定されている。

Park-PFIのメリットとしては、公的財政負担の軽減、公園の有効活用と魅力の向上、町民サービスの向上が期待できる。また、民間事業者のメリットとしては、長期的運営、収益の確保、公園施設を一体的にデザインできることにより景観の統一化なども期待できる。

町民やLRT利用者、工業団地勤務者など多くの方に快適で便利に利用できる憩いの場となり、イベント等により交流機会の増加や、防災公園としても活用できるよう、計画を早急に進められたい。

一般質問

町政を問う！

第3日目に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問しました。

石川　保　議員（8ページ）

① AIオンデマンド交通活用による町内公共交通の利便性向上について
② 農業集落排水事業について

岡田　年弘　議員（9ページ）

① 今後の芳賀町のビジョンについて

小林　一男　議員（10ページ）

① 農業振興について
② ふるさと納税について

次回の定例会は3月4日からの予定です。

多人数の傍聴の際は事前に事務局へご相談ください。
議会は、はがチャンネルでも放送します。

放送時間

会議当日	午後８時から
再放送	翌日の午後２時から

一般質問とは

一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。
質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

石川保が問う

AIオンデマンド交通活用による町内公共交通の利便性向上について

問 町内交通網をAIオンデマンドで!(町内200カ所以上の停留所で!)

従来のドアtoドア(ひばりタクシー)では効率よく最適化を図ることは厳しいのでは。現在ひばりタクシーにおいては時間のロスがある。利用者のストレスがあり最適化されない。本来のAIオンデマンド交通は町内200カ所以上停留所を設け、費用対効果も最大限生かせるのが特徴。

多くの方の利便性を向上させ、待ち時間がなくストレスのない利用を促すべきであり運行時間についても朝6時から夜9時まで営業をすることにより幅広い世代の方に利用される交通網にすべきである。

答 町長　令和6年度から公共交通の利用活用プロジェクトを位置づけ、町内公共交通網の最適化を推進しています。八ツ木の丘と芳賀工業団地トランジットセンターを結ぶ実証実験を行っています。栃木県および町内立地企業と連携し、町内拠点における人流の調査分析を実施しました。

北部エリアの実証実験は1日平均で8人程度の利用であり、ひばりタクシーについては利用者の78%が70歳以上であり、高齢者の利用が大部分となっています。

AIオンデマンドタクシーを導入することでスクールバスや北部エリアのカバーができれば交通の最適化が図れる、そういった交通計画をつくっていかなければならないと認識は持っています。

問 北部エリアの交通弱者やスクールバスの支援体制など朝夕の通勤、通学においても幅広い利用者に応えることができる。すでに多くの自治体で利用され導入後は利用者も増えている。導入に向け早急に検討されたい。

答 企画課長　今後更に公共交通の利便性向上を図るため、AIの活用や各種の実証実験の検証を行うことで、芳賀町に適した公共交通に反映していきたいと考えています。

農業集落排水施設管理の今後は

問 農業集落排水事業と公共下水道事業会計は統合されたが、加入金の受益者負担とその後の施設の管理負担に依然差があるのでは。

答 町長　農業集落排水事業と公共下水道事業会計は公会計から企業会計となり統合することになりました。今後施設管理業務の困窮や施設の老朽化による、維持管理費の増大が予測されます。

公共下水道事業では、施設の増設による使用料の適正な単価などを検討する必要があります。

また、農業集落排水の受益者負担金や施設内管理委託などについては、組合組織や下水道審議会での審議などにより一体的な検討をしていきたいと考えています。

問 農業集落排水事業は85万円、一方公共下水道事業は42万円が加入時の受益者負担であり、なお、農業集落排水事業は施設内一部の管理も継続しており、不公平さを感じている方もいる。この際是正すべき点があるのでは。

答 都市計画課長　組合組織や下水道審議会での審議などにより、一体的な検討をしていきたいと考えています。

▲農業集落排水処理施設

議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自ら要約執筆し、掲載しています。

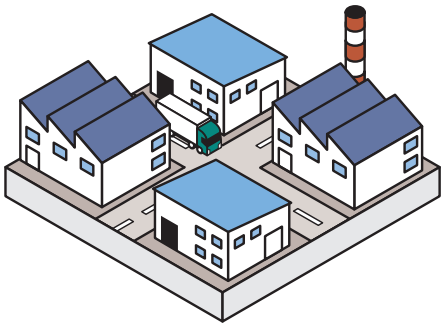
岡田年弘が問う
今後の芳賀町のビジョンについて

問 町として何を優先的に少子高齢化対策に取り組むのか。

答 企画課長　公共交通を整備して皆さまの交通の利便性を向上させ、魅力的な住宅地の整備を行って、さらに教育を充実させることで、結婚や出産、子育てをする環境を良くすることが定住・移住につながり、ひいては少子化の歯止めにつながるものとしています。高齢化については、団塊の世代の皆さまがあと10年で85歳を迎えます。これは、日本全体で着実に高齢化が進む中で重要なことは、生きがいを持ち地域社会の担い手となるよう、活躍の場をつくること、そして、元気で日常生活が送れるよう、健康寿命の改善と運動習慣の定着が重要と考えています。

問 第2工業団地に続く第3、第4の産業団地の造成やそれに伴う企業の誘致についてどう考えるのか。

答 企画課長　現在、北関東エリアでは、企業側の要望に十分に、供給に応えることができないでいるということで、産業団地が不足していると言われています。栃木県でも、各市町に出向いて、積極的な産業団地の造成を依頼している状況です。このような状況で、現在、候補地の条件の整理や基本構想案の策定を行っているところです。今年度中に実現方策の検討を行いたいと考えており、来年度以降、計画を進めたいと考えています。



問 一部の団地では、空き家が発生し、高齢者のみの世帯が目立つようになっていると思う。様々な理由があって、一世代で空き家にならないようにするには、いろいろな施策があると思う。これから造成し販売する住宅地には、将来、分家住宅を建てたり、増築できるような販売の工夫が考えられるが。

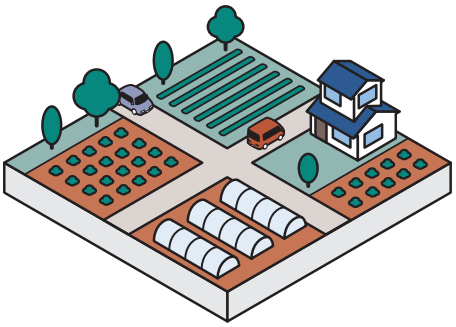
答 都市計画課長　これまで町が分譲を行った事例としましては、薬師の郷や祖陽が丘の住宅団地があります。

分譲にあたりましては、県内で住宅地分譲の経験が多い栃木県の住宅供給公社の支援を受けながら、希望者のニーズやそのときの経済状況などを考慮しまして、区画の面積や価格を設定した経緯があります。

現在、下原地区で住宅地開発を計画していますので、こちらについても、現在のニーズなどを踏まえて設定できればと考えています。

問 農業経営を活性化し、次世代に継承していくためには、芳賀町の強みや特徴を生かし、競争力の高い農業経営の実現を図るためには。

答 農政課長併農業委員会事務局長　地域農業の将来の農地利用の姿を明確化するため、地域計画を作成しているところです。地域計画では、農用地の集積・集約への取組、基盤整備事業への取組、多様な経営体の確保・育成など、地域ごとの課題に対しての目標とその目標を達成するために必要な措置などを定めています。



議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自ら要約執筆し、掲載しています。

小林一男が問う

農業振興について

問 地域計画策定が進んでいるが、そこから浮かび上がった課題と対策について伺う。

答 町長　協議結果の取りまとめを行い、地域計画(案)を作成しているところです。地域計画策定から浮かび上がった課題と対策について、

1点目は、人口減少や後継者不足による農業者の高齢化、地域農業の中心である担い手不足。

2点目は、農業者の減少により農地の担い手への集積が進む一方で、面的集約が進んでいない。

3点目は、基盤整備を実施してから年数が経過した地区では、区画狭小による作業効率の低下、用排水路、道路などの農業用施設の老朽化による維持管理コストや労力の増加が課題として挙がってきています。

問 築造から60年が過ぎた国道123号の下を貫通する農業用排水施設の老朽化が著しい。根本的解決には土地改良再整備が必要と思うが町の考えは。

答 農政課長　時代に適応した農業生産基盤の再整備、土地改良事業が必要であり、今後の農業振興に欠かすことができない重要な事業だと考えています。土地改良事業は、農業者の同意と申請により、町や県が支援を行い、国の事業採択を受けて実施します。まずは、地元の合意形成が非常に重要となりますので、土地改良区や関係機関と共に推進体制を整え、その地区に最適な手法を検討し、推進していきたいと考えています。

問 農地集約などに向けて現在どのような取組をされているのか。

答 農政課長　地区委員会の開催に合わせて、土地改良事業簡易整備、畦畔(けいはん)除去や、客土を伴わない土地改良事業、そちらの説明会の準備をしています。

ふるさと納税について

問 税算定の対象とならない魅力的な制度だが、当町においては寄附が低調であり、返礼品の見直しからPRまで抜本的な対策が求められていると思うが、その取組について伺う。

答 町長　当町におきましても、令和5年度の寄附者は前年比207%、寄附額は218%と、全国同様に増加しています。しかしながら、その実績は県内最下位であり、まだ十分に町の魅力を発信できておらず、大きな課題であると認識しているところです。その一方で、町外への寄附も増加し、ふるさと納税による町民税の減収につきましては、令和5年度分で約1,970万円と、こちらも過去最高の減収となっています。

問 返礼品の現状と今後の取組について。

答 町長　今年度から新たに追加したアールスメロンや男性用化粧品が大変好評で、多くの寄附を頂いているところです。また、新たに町内のグランピング施設宿泊券も返礼品に加え、米、梨、卵などの農産物が31品目、梨ジュースやゼリーなどの加工品が23品目、工業製品が20品目、ロマンの湯利用券つきバーベキュープランなどの体験型が8品目となっています。

問 地区外の方の新しい力を町に取り込むために、地域おこし協力隊の採用が必要だと思うが考えを伺う 。

答 企画課長　町の組織の中で、地域おこし協力隊員を募集し、どんな活動をして、どんな成果を上げられるかはまだ明確になっていません。課長を対象とした研修会の予定などもしており、他自治体の情報を分析し、確実に成果を上げられるような活用を進めたいと考えています。

議会だよりに掲載する一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自ら要約執筆し、掲載しています。

聲（こえ）

二十歳（はたち）の皆さんに聞きました

私のいいたいこと

渡部　空翔さん
（祖母井）

魅力ある芳賀町へ

この芳賀町で20歳という大きな節目を迎えられたことを大変嬉しく思います。家族や友人をはじめ、多くの方々の支えあってのことであり、皆さまに深く感謝申し上げます。

現在、日本では少子高齢化が大きな問題になっており、芳賀町も例外ではありません。私は、子どもからお年寄りまで幅広い世代が使用できるコミュニティセンターが必要だと考えます。芳賀町ではLRTが開業したことで、幅広い世代の人が住みやすい町になりつつあります。コミュニティセンターを設立し、地域の人々の憩いの場を作ることができれば、より多くの人が快適で楽しい生活を送ることができ、地域の発展へとつながると思います。

私は現在、看護師を目指し県外の大学に通っています。将来的には、これまでお世話になった芳賀町に医療という面から恩返しをしていきたいと思います。

武田　紘茄さん
（下高根沢）

芳賀町への期待

本日、この芳賀町で、人生の大きな節目となる成人の日をこうして無事迎えることができたことを大変嬉しく思います。そして、家族をはじめ、たくさんの思い出を共有してきた友人たち、温かく見守ってくださった地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんの方々の支えがあって、今の自分がいるのだということを改めて感じています。

宇都宮から芳賀町にLRTが開通し一年が経ちました。乗車駅までの交通手段がない方々にとってLRTは特に意味がないものになってしまいます。私が芳賀町に期待することは、乗車駅までの交通手段を増やし、多くの方々に利用してもらいたいです。そして、芳賀町をさらに住みやすい町にできたら嬉しいと思います。芳賀町がより一層の発展を心より願っています。

金子　奈央さん
（西高橋）

気づき

この度、無事に成人式を迎えることができ、とても嬉しく思います。この日を迎えることができたのは、支えてくれた人たちあっての事だと深く感じました。特に父や母には感謝してもしきれません。学生の頃は気づきませんでしたが、朝からお弁当作りや送迎をしてくれる事は当たり前のことではないと気づきました。仕事へ行くようになり、朝早く起きお弁当を作るようになりましたが、やっていて正直、面倒だなと感じることがあります。通勤に車を乗る際も安全に気を配らなければいけません。それを、学生時代、嫌な顔一つせず、こなしてきた父母には、社会人の先輩として見習うべき所だなと感じました。

当たり前のように思っていることは実は当たり前ではない。その考え方を持って色々なことに挑戦したり、取り組んで行くようにしようと思いました。

ピックアップ

第11回はが路ふれあいマラソン

12月15日(日)に恒例のはが路ふれあいマラソンが行われました。

寒い日ではありましたが青空に恵まれ、ランナーの皆さんはたくさんの声援を受けながら力走されました。

ボランティアの皆さんも多数参加され、おはやしなどで大会を盛り上げました。

編　集　室

今年は巳年を迎え、アメリカの大統領もトランプ氏に代わり世界中の経済への影響が懸念されます。そんな中で少なからず芳賀町へも影響があるものと思います。巳(蛇)の体のように何事にも柔軟に対応できるようになりたいものです。

まだまだ寒い日が続きますが、町民の皆さんは風邪に気を付けてお過ごしください。

(副委員長　古谷康典)

はがまち 議会クイズ

正解者の中から抽選で3名の方に粗品を進呈します。

問1

今回の議会だよりは何号でしょう?

①100　②198　③200

問2

はがチャンネルでは議会の様子を放送していますが、会議当日の放送時間は何時でしょう?

①午後8時　②午後7時　③午後10時

応募方法：はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、議会へのご要望を書いて下記までお送りください。(FAX・Eメール可)

あ て 先：321-3392
芳賀町大字祖母井1020
芳賀町議会事務局
議会だより係
(FAX) 677-6057
Eメールはこちらから➡

締め切り：令和7年2月28日（金）必着
※答えは次号で発表します。
当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

今回ははがまるくんシャープペン、はがまるくんクリアファイル、はがまるくんメモ帳です。
たくさんのご応募お待ちしております。

197号答え　問1：③5人　問2：②60分
たくさんのご応募ありがとうございました。

はがまち議会だより No.198号　2024年12月定例会
編集・発行：栃木県芳賀町議会
〒321-3392　栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020
TEL 028(677)6023　FAX 028(677)6057